

SNK第6～7期 2005～2006年活動の記録

「私たちはSNK12年の歴史をSNKホームページにUPする」企画に取り組んでいます。ここに編纂するSNKの歴史は、シニアネットの萌芽時代、組織されて以降、今日までの歴史を取り上げています。皆さんの声を編集局にお寄せください。第6～7期(2005～2006)は市民としてもSNK会員としても、真面目に学び遊ぶみなさんたち、組織の時代です。(資料等の記録は会員諸氏のHP、記録写真他を活用しています)

参考：広報 Vol.20 2008.10.22 発行：特集 SNK10年史

市広報くろめ誌再契約(通期4年)、
：まちの話題取材記事作成
ジョイナス・季刊情報紙の作成取り組み
：筑後川テーマで久留米市内取材編集



お知らせ
秋の叙勲

会員 寺松保憲さん

叙勲の名称 瑞宝双光賞

「危険業務従事者叙勲：警察官や消防署員、自衛官など危険を伴う職務に携わった人」危険業務従事者叙勲の受章
☆寺松ちゃんがねえ…と話を聞いたときちょっと驚いたが、現職中の勤勉な仕事ぶりが高く評価されたのでしょう。友達としても嬉しい、昔刑事で今日も慶事とは目出度い。(紹介 廣津芳信さん)

江藤前市長 (会員江藤黎子御主人)

叙勲の名称 旭日双光章

「国家または公共に対し功労がある者の内功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者に対して授与される。」
☆市長としてのご尽力に市民からの大きな感謝状を添えたい。そして、同じくらい大きな努力賞を江藤黎子さんに。(紹介 岩坂浩子さん)

(あとがき) 東日本大震災は忘れられた美風「絆」を蘇らせた。東北の復興を祈り願う 2012年(弐)

- | | | |
|------|-------|------------------------------|
| 2005 | 4.15 | 広報くろめ取材業務委託契約更新 |
| | 5.12 | 久留米市情報誌「ジョイナス」取材・編集業務委託契約 |
| | 5.18 | 初めてのPC講座用テキスト改訂印刷 200部 |
| | 7.01 | 初めてのPC講座受講者累計500名越(H15年7月以降) |
| | 7.11 | パソコン講座活性化小委員会スタート |
| | 8.15 | 水天宮「流し灯籠」ボランティア16名参加 |
| | 8.25 | 九重・子と孫の自然体験の会 30名参加(～26日まで) |
| | 9.01 | チッゴアミーゴスNHKふくおか1番星生出演 |
| | 10.01 | 初級エクセル夜間講座開設 |
| | 10.16 | 第4回筑後川芋煮会(うまかもんば喰う会主催) |
| | 11.05 | 車椅子レクダンス全国大会、SNK協賛 |
| | 11.30 | 荘島小学校平和学習授業(戦争体験を語る)会員参加 |
| | 12.03 | 子供対象ハガキ講座(教育研究所)実施 70名参加 |
| | 12.07 | 岩手県長寿社会振興財団研修一行(16名)来訪 |
| 2006 | 2.11 | 第7回ふるさと探検、城島近郊 26名参加 |
| | 3.06 | 初歩メール講座開講 |
| | 4.01 | 広報くろめ取材業務委託契約更新(3期目) |
| | 4.01 | 「初めてのPC」テキスト第3版編集会議 |
| | 4.14 | シネマ倶楽部総会 |
| | 5.18 | 菊池徹氏告別式(須佐理事長参列) |
| | 5.29 | 久留米商工会議所行徳課長来訪。教育支援ボランティア |
| | 5.30 | 第8回ふるさと探検 山口・萩 26名参加 |
| | 8.05 | 諏訪中学校エクセル教室の実施 |
| | 8.15 | 水天宮「流し灯籠」SNKボランティア延33名参加 |
| | 9.24 | チッゴアミーゴス、草の根コンサート出演(六角堂) |
| | 10.00 | 官公庁ファミリークラブHP制作納品 |
| | 10.01 | 「初めてのPC」テキスト第5版編集会議 |
| | 10.29 | 第5回筑後川芋煮会(うまかもんば喰う会主催) |
| | 11.04 | チッゴアミーゴス、医療生協健康まつり出演 |
| | 11.05 | 第9回ふるさと探検草野町ツバキ園めぐり 24名参加 |
| | 11.12 | 会員中島輝洋子さん歌集「夢ならば」発刊支援、配布 |
| | 12.09 | SNK教育支援ボランティアチーム立ち上げ |
| 2007 | 1.22 | 荘島プラザへ本部移転を決定(理事会) |
| | 3.06 | SNK教育支援ボランティアチーム荘島小学校参観 |
| | 3.21 | 第10回ふるさと探検、つばきウォーキング、25名参加 |
| | 3.23 | 事務局の引越し3/28引越し完了 |



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 今津一躬
久留米市荘島町13-1
TEL 0942-46-2277

「2012 謹賀新年」

理事長 今津 一躬



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には佳いお年をお迎えのことと思います。

昨年はこれでもかこれでもかと多難なことが起こりました。

天災とも言える地震、津波、台風、大雨、竜巻そして人災と言える原発事故、列車事故、テロ、暴動など、その上に政治・経済の大混乱が重なり現在から将来への不安が募った1年でした。

海外旅行しても日本にかえると「ほっと」する。「日本が一番良いね!」と思う。その日本にも大きな危険性を孕んでいました。

私たちの筑後はこの数年台風も来ませんし、テロ・暴動などもなく恵まれているとつくづく思われます。この新しい1年が健康で安泰でありますようお願いいたします。天災はいつ起こるか分かりませし、政治・経済はどうてい頼りにならないでしょうから、地域の絆～交流を大切にすることが最も確かな支えになると考えます。思いますに、私たちの世代は右肩あがり時代に過ごせて恵まれていました。若い世代に問題先送りして大変な重荷を背負わしていることに何かできることはないでしょうか? 培った経験や伝統をいい形で活用し残したいものです。

SNKの運営はお陰さまで皆様のご協力によって安定・平穏な状態にあります。それでも運営スタッフは年1年、歳を重ねていますので常に新しい方の参加を期待しています。少しずつ支えあってより良いSNKを築いていこうではありませんか。皆様の健康とご多幸を心からお祈りいたします。

SNK会員全員集合オフ会



会いたいなあの人に、毎年恒例のオフ会に全員集合。会員有志のアトラクションも参加者多数で盛り上がる交流会(2011秋)

荒木農園

育っている市民交流を知っていますか？ 特集 癒しの森公園

この指とまれ、荒木農園は癒しの森公園です。
土を耕し野菜を育て自然から精気を受け取ります。
この指とまれ、あなたと遊ぼう、
みんなで話そう、みんなが集まる世界をつくろう。
荒木農園の四季 <http://allfarm.exblog.jp/>

収穫祭など季節毎の自然を楽しむシニアたち、だが野菜作りに鳥や猪、病害虫など荒れる自然は怖い



癒しの森公園で遊んだこと

荒木農園・秋の収穫祭の参加者は、①SNK、②久留米大学、③くるるん、④デイサービスなど 100 名をこえる参加がありました。

まず、くるるんを中心に島井さんの畑で芋掘り体験を行いました。芋はサツマイモとサトイモが植えてあり、地中深くになっている芋を引き抜くのに悪戦苦闘する子どもたちの姿がみられて非常にかわいらしく感じました。そして、サツマイモとサトイモをメインとした料理を食べる交流会を行いました。料理は豚汁、フライドサツマイモ、おこわ、など大変おいしくいただきました。

各世代の方が交流する機会が少なくなっているなか、農園を通した多世代交流ができたということは素晴らしいことだと感じました。

園芸福祉という言葉もありますように、園芸を通した地域交流を今後も継続させなければならないと思います。大変有意義な一日を送らせていただきました。
会員 久留米大学 末永和也

癒しの森公園から見えるもの

2008年に荒木農園を開始してまもなく4年になります。当初ここを見学したとき、私はここは単に野菜作りの場所としてだけでなく、いろいろな使い方が出来ると直感しました。それはここが昔植物園だったこともあり、いろいろな植物が植わっており、子供たちの遊び場にもなるし、高齢者者の憩いの場、あるいは病後の患者のリハビリの場所にもなりうると感じました。

2008年の春SNKで呼びかけたところ家庭菜園に関心あるみなさんが10名ほど集まって早速耕運機で開墾し畑作りを始めました。ほとんどの方が初めての体験だったようですが、家庭菜園ベテランの乗富さんを先生役にして、急速な進歩を遂げ今では十数名のメンバーが思い思いの野菜を自由に作れるようになりました。現在は久留米大学の先生や学生も常連メンバーとなり、毎年春と秋にはここでとれた野菜を使っての収穫祭を実施し、メンバーだけでなく幼児やデイサービスのお年寄りなども招待して、当初の目的のひとつである憩いの森としての活動も軌道に乗り始めました。

さらには不登校児童の研修場所として使いたいとの提案もあり、大学の使命のひとつである「地域貢献活動」の一端を担える場所になりうるのではないかと自負しています。

理事 農園プロデューサー 島井 新一郎

荒木農園・秋の収穫祭に参加して

爽やかな秋晴れとなった日、子育て交流プラザくるるんから総勢44名、荒木農園秋の収穫祭に参加させていただきました。

畑に到着すると、子どもたちは初めて見る里芋やさつまいもの葉っぱに興味津々。係りの方のご指導のもとスコップで土を掘り、お芋が出てくると歓声をあげて大喜び。「見て見て！すごく大きいよ」、「おもしろい形だよ！」、とうれしそうにお芋を見せ合っていました。パパやママもそんな子ども達との会話を楽しみながら、一緒に芋掘りに夢中になっていました。日頃はなかなか親子で自然にふれあう機会がないのでとてもよい経験です、と口々に喜ばれていました。

また、芋掘りの後はみんなで秋の味覚がたっぷりのだんご汁やおこわなど心のこもったごちそうを頂き、あまりのおいしさに次々と「おかわり」の列ができていました。楽しい思い出がたくさんできた素敵な一日となりました。また次回を楽しみにしています。シニアネットの皆さま、本当にありがとうございました。

子育て交流プラザくるるん スタッフ 岡部美貴



元気な子どもたちと若いお母さんは、自然の中で遊び、採れたて野菜を楽しみました

荒木農園収穫祭と癒しの森公園づくりへの期待

秋晴れの晴天に恵まれ、SNK恒例の秋の収穫祭が開催されました。参加者はSNK会員と久留米大学学生・教員、子育てくるるん、デイサービスこもれびの家のお年寄り、一般市民等を合わせて100名を超えました。

SNK会員による荒木農園での野菜づくりのきっかけは、平成19年に開催された「久留米大学第1回健康生きがいのあるまちづくり“ゆにばひろば”」のイベントに求められます。このイベントの柱の一つが、市民に広く意見を求めた「健康生きがいのあるまちづくり“私の提言”」への取組でした。その提言のなかで、久留米市長賞を獲得したのが、SNK会員島井新一郎さんの「発酵生ゴミ堆肥活用市民農園」の提言でした。

高齢者の健康・生きがいづくりから社会参加、環境制御の取り組みまでを視野におさめたこの提言は、21世紀型高齢社会を先導するシニアからの貴重な提言として実現すべきと考えました。荒木農園はそういう思いを受け止める場所として、平成20年に荒木研修所内に開かれた久留米大学とシニアを結ぶ農園です。

元植物園の場所でもある荒木農園は春夏秋冬、様々な木や花、野草等に囲まれた自然公園でもあります。このような場所で行われる花見や秋の収穫祭は、子どもから学生、車椅子の高齢者や障害者など、多世代を結ぶ癒しの森公園における“ミニゆにばひろば”として、シニアによる活動が期待されます。 会員 久留米大学客員教授 保坂恵美子

MORIMITSU 株式会社 森光商店

Grain, Food, Petlife Div
お客様の「価値」を創る商店へ
『価値創造商店』

本店 佐賀県鳥栖市藤木町若桜9-7
Tel0942-85-1125 Fax 82-9780



ホテル ニュープラザ久留米

tel.942-33-0101 fax.942-38-6583